

漂

ヒヨウ
ただよう

14画
氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵 氵

なりたち 舞い上がる火の粉を表した票と、水の意味の「さんずい」との会意形声字。
火の粉が空に舞い踊るように、水に浮かぶ物が流れに「漂う」ことを表した字。また、染色した布を川の流れに漬けたまま漂わせておくこと。「水にさらす」ことをいう。



いみじゆく
▼流れに漂う。
漂流：流れに漂うこと。また、漂い流れること。転じて、さ迷い歩くことをいう。
漂泊：水上を漂って何日も過ごすこと。転じて、人が所定めざさ迷い歩くこと。
漂着：漂流した挙げ句、岸に流れ着くこと。【用例】難破船が漂着する。
▼水にさらす。
漂白：布を水にさらして白くすること。今は、薬品を使って白くすることにも言う。【例】漂白剤

【例】漂白剤

漂

栄

エイ
さかえる・はえ・はえる

9画
艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹

なりたち 旧字体は榮。榮(栄)（周りに火がともされて暗い夜が活気づく）の艹と、木との会意形声字。「木が活気づく」意味で、木が勢いよく茂ることを表した字。草木が「栄える」こと。転じて、人が栄えて「名譽を得る」こと。



いみじゆく
▼木が勢いよく茂る。
繁栄：木が勢いよく繁ること。また、人や家が栄えること。
栄枯：草木が茂ることと、枯れること。また、人や家が栄えたり衰えたりすること。
栄進：高い地位に進むこと。
榮転：今までよりも高い地位に移ること。
清栄：清く栄える意味で、手紙の書き出しのあいさつの言葉。
共栄：共に助け合って栄えること。【用例】共栄の社会。

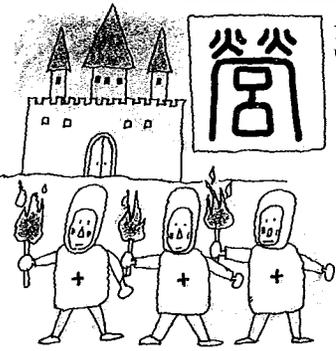
【用例】共栄の社会。

営

エイ
いとなむ

12画
宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀

なりたち 旧字体は營。營(営)（周りに火をともし暗い夜を活気づける）の宀と、宮の意味の呂(り)との会意形声字。立派な宮殿に手を加えて更に立派にすることを表した字で、「営む」こと。また、「計画」の意味。



いみじゆく
▼営む。仕事をする。
営業：事業を営むこと。利益を得ることを目的として仕事をすること。また、その仕事。
経営：規模や方針を定めて、事業を行うこと。【例】経営者
運営：事業を行うために、組織を動かすこと。【用例】能力率
▼計画する。計る。
営利：利益を計ること。【例】営利事業
▼建物などを造る。
造営：立派な建物(宮殿・寺社など)を建てること。【用例】大仏殿の造営。
▼軍隊の泊まる建物のある所。兵営：兵隊が居住する建物のある場所。軍営。陣営。
よみかた 営繕・営林・公営・私営・設営・直営・野営

【例】営利事業

【例】営利事業

労

ロウ

7画
艹 艹 艹 艹 艹 艹 艹

なりたち 旧字体は勞。勞(勞)（周りに火をともし暗い夜を活気づける）の艹と、力との会意字。普通以上に力を出して元氣よく働くことを表した字。努力して働くこと。疲れる・ねがらうこと。



いみじゆく
▼努力して働く。骨を折る。
労働：収入を得るために体や頭脳を使って働くこと。【例】肉體労働
勤勞：勤めとして働くこと。
【例】勤勞時間
苦勞：苦しい状態で、物事をうまくやろうとあれこれ骨を折ること。【用例】苦勞を重ねる。
徒勞：無駄な骨折り。
▼骨を折って、疲れる。
疲勞：疲れること。【例】疲勞困憊(ひんぱん)（疲れ果てること。）
過勞：働き過ぎること。【用例】過勞で病気になる。
▼疲れをいたわる。ねぎらう。
慰勞：骨折った疲れをねぎらうこと。【例】慰勞会
▼「労働者」の略。
勞使：労働者と使用者。【用例】勞使の代表が話し合う。

【例】慰勞会

【例】慰勞会

営